

中学校区におけるめざす子ども像	堺市立安井小学校 校長 藤田 明彦
ちがいをみとめ、ともに生き、将来の夢と希望に向けて自ら学び続ける子	

令和6年度 重点目標
【学校教育目標】人権尊重を基盤に、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。
【めざす児童像】①人権を大切にし、みんなと仲良くする「やさしい子」（徳） ②行動に責任をもって、よく考える「すなおな子」（知） ③健康で明るく、がんばりぬく「いつも元気な子」（体）
【めざす学校像】①集団生活を通して、互いを尊重する心と豊かな社会性、生きる力を養う学校 ②確かな学力・総合的な学力を培う、厳しくも温かい学校 ③心身とも健康で、しなやかな心を持ち、自分を高めるために力いっぱい励むことができる学校

「確かな学びと豊かな心」の現状	「豊かな心・健やかな体」の現状
・学習活動において、自分で学習計画を立てることや粘り強く学ぼうとすることに課題がある。また、基礎的な学力が定着するのに時間がかかる児童が少なくない。 ・昨年度の全国学調やすくすくウォッチの結果より国語科では「漢字を文の中で正しく使う」ことに課題がある。算数科では記述式の問題の正答率が低い。一方で、新しい問題への意欲は高く、あきらめずに取り組もうとする態度も見られる。自ら学習計画を立てられるように自主学習の取り組みを進める。また、基礎学力の定着を図るとともに、各教科において「きいて、表現する」活動を通じて、思考の過程を大切にし、自らの学びを整理することで、総合的な学力の向上を図る。	・中学校区や小学校独自の健全育成を行い、優しく素直に育っている児童が多い。 ・児童会が中心となり、たてわり活動を行っている。高学年が低学年をサポートする姿がよく見られる。しかし、各調査で「人と違う意見について考えるのが楽しい」と感じている児童の割合は約70％である。これを踏まえ、様々な場面で、協働的な活動を通じて、人とのかかわりの中で学び、理解し合うことで豊かな心の育成を図る。 ・直近の体力テストの結果によると、堺市平均より低い項目が多い。普段の授業時に様々な運動やゲーム的な運動を取り入れるなど、体力向上につながる取り組みの改善を行う。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況 (年度末)					
								自己評価		学校関係者評価			
確かな学び	授業改善	堺版授業スタンダードに加え、学びのコンパスに取り組む。子どもが自らの学習状況を把握し、主体的に学習方法や学習形態を組み合わせながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めるとともに、総合的な学力の育成を図る。	授業改善に努め児童ができた喜びを感じ、学びたいような魅力ある授業づくりを行う。	アンケートの「授業が楽しい」と感じ前向きに取り組む児童がおよそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末	○	各学年の実態に応じて、学び方を工夫したり、中学校区で合同研修をしたりしている。	○	89%が肯定的に捉えている。児童の実態に合わせ、授業の工夫を日々行うことができた。	○	ICTを積極的に活用し、授業づくりを進められた。また、自主学習においても、子どもが自分なりに工夫して、取り組むことができています。	
			●児童が主体的に課題を見つけ、学習方法や学習形態を選択し、自らの考えをもつとともに、自分なりの言葉で表現する活動を進める。	アンケートの「自分の思いや考えを書いたり発表したりしている」の肯定的意見およそ70%以上	学校教育活動アンケート	学期末	○	職員間で授業における取り組みについて情報交換をし、授業改善の取り組みを継続している。	○	授業で新たな取り組みを取り入れながら、子ども一人ひとりに対応した学びを保障することができた。	○		
			学年・クラス・個々の児童の課題をしっかりとふまえ、課題に応じたインクルーシブ教育を進める。	公開授業における肯定的意見およそ80%以上	実践報告	年度末	○	個々の課題へのアプローチも行いながら、よさを引き出せるように心がけている。	○	全体的に肯定的に捉えている。研修委員会を中心に授業改善に努めた。	○		
			一人1台の端末を積極的に用いて、授業のICT化を推進する。	アンケートの「授業の中でタブレットをよく使っている」の肯定率60%以上	学校教育活動アンケート	年度末	○	学年の実態に応じて、より効果的にICTを活用できるように授業づくりを工夫している。	○	81%が肯定的に捉えている。ICTを積極的に活用することができた。	◎		
			定期的に家庭学習で自主学習に取り組ませ、自分の興味・関心があることを探求する意欲を高める。	アンケートの「自分の興味のあるものや調べたいと思ったことを自主学習のめあてにしている」の肯定的意見およそ60%以上	学校教育活動アンケート		○	自主学習についても、学年の実態に応じて取り組みを進めている。	○	65%肯定的に捉えている。「何を」「どのように学ぶのか」ということを児童自らが考える力が今後必要である。	○		
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	子どもと教師がお互いに認め合いつながることによって、一人ひとりを認め合える学習集団へと高めていく。	★「きくこと」を大切にし、友だちの意見に共感したり、自分とは異なる意見を認め合ったりすることで、自分の考えを深める。	アンケートの「授業中、先生の話や友達の意見を聞いている」の肯定率80%以上	学校教育活動アンケート	年度末	○	傾聴を意識して取り組んでいる。また、自ら「尋ねる」ことも大切にしなが取り組んでいる。	○	96%が肯定的に捉えている。児童は「きく」ことで自らの学びを進められるようになってきた。	○	今後も自ら分らないことを尋ね、学びに迎えるようにしてほしい。	
			一人ひとりの子どもが安心して活動できる居場所づくりを進め、人とのかかわりを通じ、自己有用感を高め、お互いのありのままを認め合えるしなやかな心を育てる。	人とのかかわりを通じ、相手の想いを知り、認め合う学習集団の中で、自己有用感を醸成させる。	アンケートの「自分のがんばりを認めてくれる先生がいる」の肯定的意見およそ80%以上	学校教育活動アンケート	学期末	○	人とのかかわりの中で、成長していけるように、職員も各児童のよさを伸ばし、個々の課題に応じた声かけや対応を心がけている。	○	89%が肯定的に捉えている。児童一人ひとりのよさや成長を捉えるとともに、個々の課題に応じた声かけや対応ができた。	○	92%の児童が学校へ行くのが楽しいと感じていることはすばらしいことである。今後もチーム安井として、子どもたちのことを見守ってほしい。
				児童が笑顔で登校し笑顔で下校できる、いじめのない学校づくりをすすめる。	アンケートの「学校へいくのが楽しい」の肯定的意見およそ80%以上	学校教育活動アンケート	学期末	○	常に人間関係を注視し、困っていたり、悲しい思いをしたりしている子がいないかを把握できるように心がけている。異変を感じた時には、迅速な組織的対応を行っている。	○	92%が肯定的に捉えている。複数教員で情報共有し、組織的な対応ができた。	◎	
	個々の良さや課題を認め合える集団づくりに取り組む。	アンケートの「友だちの良いところを見つけた」の肯定意見およそ80%以上。		学校教育活動アンケート	学期末	○	児童どうしの理解を深められるように、グループ活動を多く取り入れるなどの工夫を行っている。	○	90%が肯定的に捉えている。児童同士のつながりを大切にし、集団での自己有用感に繋げることができた。	○			
	体力向上	楽しく運動する取組を計画し、継続して実践することで、体力向上を図る。	体育の時間に、体づくり運動などを通じて、様々な動きを取り入れることで、運動の基礎となる様々な身体感覚を身につけさせる。	アンケートの「体育の時間に、様々な動きを取り入れた活動を行っている」の肯定的意見およそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末	○	各主運動に合わせた体づくり運動を行っている。	○	91%が肯定的に捉えている。体育科の授業で様々な身体感覚を養えるように、活動を工夫することができた。	○	体育の時間だけでなく、たてわり活動も活用し、運動に親しみ、運動の楽しさを味わえる活動に取り組んでほしい。	
			運動や体を動かすことの楽しさや気持ちよさを、あらゆる場で伝えていき、日ごろから運動を積極的に行おうとする気持ちを、子どもがもてるようにする。	アンケートの「15分休憩や、昼休みには外で遊ぶことが多い」の肯定的意見およそ70%以上	学校教育活動アンケート	年度末	○	年間を通じてたてわり活動も含めて、なわとび集会を行っている。また、運動の大切さを体育の時間を中心に伝えている。	○	70%が肯定的に捉えている。季節によって差はある。体育を中心に体を動かすことの楽しさや気持ちよさを感じられるようにしたい。	○		
			さまざまな場面で、食事や睡眠の大切さを伝えていくことによって、子ども自身がその大切さを理解し、健康に配慮した生活習慣を送れるようにする。	アンケートの「朝ごはんは毎日食べている」、「毎晩決まった時間に寝る」の肯定的意見およそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末	○	さまざまな場面で、規則正しい生活習慣について伝えている。食育に関しては、近隣校の栄養教諭による出前授業を実施。	○	決まった時間に寝ている割合が55%であった。家庭とも連携し、生活習慣の改善が必要だと感じる。	○		
	地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域とともに歩む学校づくりに取り組む。	学校だよりやホームページなどを教職員全員で取り組み、学校情報を積極的に発信する	アンケートの「学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている」の肯定的意見およそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末	◎	学校長を中心に、毎日学校生活の様子をHPで発信している。	◎	80%が肯定的に捉えている。引き続き教育活動の様子を発信していく。	○	今後も積極的に学校の様子を発信し、地域とともに学校づくりを進めてほしい。
外部人材（地域人材）を積極的に活用し、地域とともに歩む学校づくりを推進する				学習活動や行事において、地域人材の参画・補助を増やす	実践報告	年度末	○	複数年において、サポーターやメダカなどの生き物の授業をしていただいた。学習環境の整備などにも関わっていただいている。	○	今後もより一層の地域人材を活用し、学校教育の充実に努める。	○		
校長より (年度末) 日頃からの危機意識を高め、子どもの命を守ることを第一に考える。そのために健康安全面に注意し、整った学習環境の中で心身ともに快適に過ごすことを基本に以下のことを進めていく。 1. いじめのない安全・安心で子どもたちの人権が守られ、登校が楽しみになる学校づくりを進める。 2. 基礎学力の定着と静謐な学習環境を確立し学びのコンパスをすすめ、自ら学習計画を立て、学びを進める態度を育てる。 3. 子どもたち同士の学びが活発となるように、ICT機器を効果的に使う授業づくりを進めていく。 4. 体力向上に努め、生涯にわたって自らの健康管理や命の大切さを知るができるように、心身の健康教育を進めていく。 5. 開かれた学校づくりを目指して、HPなどを活用して保護者・地域の皆様に発信を続ける。 6. SNSなどの正しい使い方や、個人情報保護の大切さを教え、情報化社会の中で生きていく子どもたちを育成する。									学校関係者評価者から (年度末) 子どもたちが学校へ行くことが楽しいと思えることはすばらしいことである。今後もチーム安井として、子どもたちへの指導をお願いします。ICTを効果的に活用し、よりよい授業で子どもたちが学べるように、今後も授業改善に取り組んでほしいと思います。				